

愛媛県地域力連携拠点

「大洲地域経営支援センター」

をご利用ください。

応援コーディネーターや専門家があなたの事業をサポートします。

—相談は無料で、秘密は厳守いたします。—

大洲商工会議所では、地域の厳しい経済環境のもと、中小企業の皆様が抱えている様々な経営課題の解決を図るため、気楽に相談できる窓口として国の委託を受け「大洲地域経営支援センター」を4月1日に開設しました。

大洲商工会館1階に設置した当支援センターでは、応援コーディネーター2名が経営に関する相談や地域資源活用、農工商等連携、創業等に関する様々な問題に親切に対応します。

まずは相談してください！
←
自社の強み、弱みを知りましょう！
←
課題を克服しましょう！

支援相談内容

- ・新たな経営方法の導入を支援します。
- ・新事業展開を支援します。
- ・創業を支援します。
- ・再チャレンジを支援します。

相談場所

大洲商工会館1階相談室

相談時間

月曜日～金曜日
午前9時30分～午後5時
但し、土・日曜日、祝日、年末年始は休日とします。
※応援コーディネーターが不在の場合は会議所職員がお聞きします。

応援コーディネーター

火曜日担当 上野敬治
中小企業診断士、社会保険労務士、ISO9001・14001審査員補
木曜日担当 岡本恭英
社会保険労務士

【問い合わせ先】

大洲商工会議所指導課
☎21111

銃砲刀剣類の登録について

銃砲や刀剣類を新たに発見したときは、速やかに最寄りの警察署の生活安全課に発見届出し、「銃砲刀剣類発見届出済証」の交付を受けた後、発見者（所有者）自身が銃砲刀剣類を持参し、登録手続きをしてください。

【日時】

偶数月 第3木曜日
(祝日の場合は翌日)

○刀剣類

午後1時から午後5時まで
○古式銃砲
午後4時から午後5時まで

【場所】

愛媛県庁第一別館11階会議室
(松山市一番町4-4-2)
※必ず左記照会先に事前ご連絡し、指示を受けてからお越しください。

【問い合わせ先】

愛媛県教育委員会
文化財保護課
☎089・912・2976
(直通)

国有財産 先着順売払のお知らせ

国土交通省大洲河川国道事務所では、左記内容で現在先着順売払を受け付けています。

1 先着順売払に付する事項

- (1) 売払財産の名称
種別：土地
地目：宅地
- (2) 売払財産の数量等
355・07㎡(実測面積)
- (3) 売払財産の所在地
愛媛県大洲市大洲字鉄砲町812番7外1筆
- (4) 売払価格
21,304,200円

2 売払申請書の提出場所および受付期間

(1) 受付場所
大洲河川国道事務所経理課(郵送不可)

- (2) 受付期間
7月24日(金)まで(売払相手方が決定次第終了)
※土日祝日を除く
- (3) 受付時間
午前10時から正午および午後1時から午後5時まで

3 現場説明について

買受を希望される場合は、必ず現地にて物件をご確認ください。

希望者には随時現場説明を実施致しますので、左記問い合わせ先までご連絡ください。

※左記のとおり情報を掲載および掲載しておりますので、ご参考にしてください。

- (1) 揭示場所…大洲市役所、大洲土木事務所、大洲河川国道事務所
- (2) 掲載箇所…大洲河川国道事務所ホームページ
<http://www.skr.mlit.go.jp/oozu/index.html>

「業務案内」↓「入札契約情報」↓「国有財産先着順売払公告」
「業務案内」↓「入札契約情報」↓「国有財産売払物件情報」

【問い合わせ先】

国土交通省四国地方整備局
大洲河川国道事務所経理課
☎25186

シリーズ防災・消防署からのお知らせ

風水害や土砂災害に備えて

テレビやラジオで事前に雨量や降る時間帯などの情報をキャッチし、早めに安全対策をとりましょう。

予測が可能な風水害

これからの時期は梅雨前線豪雨や台風などによる風水害が心配されます。集中豪雨は、狭い地域に

洪水時の避難の呼びかけと発令基準

呼びかけの区分	緊急度	発令基準の目安	住民の皆さんが取るべき行動
避難準備情報 (要援護者避難情報)	★	各地区の浸水時期または堤防越流開始時期(注)約3時間前	要援護者は、介護者、支援者とともにあらかじめ定められた避難場所などへ避難行動を開始する。
避難勧告	★★	各地区の浸水時期または堤防越流開始時期(注)約2時間前	通常の避難行動ができる人は、あらかじめ定められた避難場所などへ避難行動を開始する。
避難指示	★★★	堤防決壊の危険性のある水位に達する時期(注)約2時間前	未だ避難していない人は、直ちに避難行動を開始する。生命を守る最低限の行動をとる。

(注) 時間は、標準的な目安であり、雨量、水位の状況などにより長くなったり、短くなったりしますのでご了承ください。



シリーズ防災 No.15

【問い合わせ先】
市役所危機管理課
☎22111 (内線352)

大雨により重大な災害のおそれがある場合、「大雨警報」が発表されます。さらに大雨警報発表中に土砂災害の危険度が高まった場合、「土砂災害警戒情報」が市町単位で発表されますので、テレビやラジオなどの気象情報に注意しましょう。

一人ひとりが早めの避難や安全対策を

短時間のうちに集中的に降る大雨のことをいい、梅雨の終り頃によく起こります。また、台風は7〜9月にかけて日本に接近します。集中豪雨が起きると河川のはん濫、がけ崩れ、地すべりなどの被害を生じ、河川の近くや造成地、がけ付近などでは特に注意が必要です。

大洲消防署からのお知らせ

津波による災害の防止

津波は地震などが発生し、海底の地形が変化するとその変化がそのまま海面に現れ、大きな波となる現象です。(お風呂などで底のほうから手で勢いよく水をかくと水面が引きあがるのと同じです)津波による災害から尊い命を守るために次のことに注意しましょう。

津波による被害を防ぐために？

答えはひとつ、それは「逃げる」ことです。それも「すばやく高い所に逃げる」ことです。

強い地震(震度4程度以上)を感じたとき、または弱い地震であっても長い時間ゆっくりとした揺れを感じたときは、すぐに避難しましょう。



自分の命は自分で守る!!

自分はどこに避難すればいいのか、そこまでの経路は安全なのか、正しい情報をラジオ、テレビ、防災機関の広報などを通じて入手することが大切です。「自分の命は自分で守る!」といった津波防災意識を高くもちましょう。

避難の心得

- ① 防災無線などによる避難に関する情報をよく聞く。
- ② なるべく高いところに避難する。
- ③ 荷物は必要最小限にとどめる。
- ④ お年寄りや子供の手はしっかりとにぎる。
- ⑤ 近所の人たちと集団で、決められた場所に集合する。
- ⑥ 狭い道や川、がけの近くは避けて避難する。
- ⑦ 指定された避難場所へ避難する。

大洲地域気象観測所 (アメダス) の移設と新たな気象観測項目について

- 1 観測所を移設
大洲地域気象観測所(アメダス)は、これまで大洲市大洲に設置していましたが、平成21年2月14日に、大洲市阿蔵に移設しました。
- 2 観測データの新たな開始項目
① 最大瞬間風速を新たに観測します。(任意の時間)
② 平均風速および瞬間風速の観測単位を、1 m/s から0.1 m/sに変更しました。

③ 最大降水量(10分間、1時間)を新たに観測します。(任意の時間)
④ 日最高気温、日最低気温を新たに観測します。(任意の時間)
詳しくは、松山地方気象台ホームページをご覧ください。
http://www.osaka-jma.go.jp/matyama/index.html
【問い合わせ先】
松山地方気象台
防災業務課
☎089・933・3610



まちのわだい



▲応援するほうにも力が入ります

はっけよい、のこった!

～小野地蔵尊祭り・子ども相撲大会～

4/19(日)

白滝の小野地域で恒例の「小野地蔵尊祭り」が開催され、奉納、餅まきのあと、白滝小と柴小男子児童26人が参加して「子ども相撲大会」が行われました。地域住民や教職員からの大きな声援を受けた児童たちは、力と力の真剣勝負を繰り広げました。学年別対抗戦の後は個人戦です。3人抜き戦となりフラフラになっても一生懸命に取り組む児童の姿は、とても頼もしく感じられました。

白滝の一年は、小野地蔵尊祭りで幕を開けます。

4/21(火)

うかいの魅力を伝えま

～観光県外訪問宣伝隊出発～



▲清水副市長から激励を受ける宣伝隊

県外の人に肱川のうかいはじめ富士山のツツジや大洲城などをPRし、多くの観光客に来てもらおうと、観光宣伝隊がPRに出発しました。

清水副市長からの激励に応じて、米澤長幸うかい登録店組合長が、「一人でも多くの方に来てもらえるよう頑張ります」とあいさつ。宣伝隊5人は、早速車に宣伝用グッズを積み込むと、最初の宣伝地である高松方面に向けて出発しました。

高松市のJR高松駅や三越前、そして高知市の中央公園などで街頭宣伝を行い、うかいの魅力や観光情報を紹介したほか、新聞社やテレビ局などの報道機関を訪れPRに努めました。

第45回 新就職者激励大会

～新社会人の誕生を祝福～

4/22(水)



▲新就職者を代表して、お礼と抱負を述べる
松本さん(左)と平田さん

大洲市総合福祉センターで、「第45回新就職者激励大会」(大洲商工会議所、大洲市、大洲市教育委員会など主催)が開催されました。

この大会は、大洲市内の企業に就職した人たちの前途を祝福し、あわせて今後の活躍を期待して毎年開催されているものです。この日は、新就職者72人のうち、47人が真新しい制服やスーツに身をつつんで参加しました。

先輩激励のことばでは、大野千春さんが「良い人間関係を作ることが大切。先輩たちも同じ道を歩いてきたことを忘れないで頑

張ってください」と新社会人を激励しました。また、松本祐樹さんと平田景子さんの新就職者2人が、「一日も早く職場に慣れ、地域社会に貢献できるよう努力したい」とお礼と今後の抱負を述べました。

このあと、テレビ愛媛アナウンサーの天下香奈さんが『見つけるのは“生き抜く術”』と題した記念講演を行い、ご自分の新人時代の経験などを話され、新就職者を激励しました。

まちのわだい

4/19(日)

第25回肱川町俳句大会 ～暖かい春の陽気に包まれて～

第25回肱川町俳句大会が、肱川風の博物館で開催されました。暖かい春の陽気に包まれ、県内から71人の参加者が趣のある句を投じました。大洲市長賞には西予市宇和町の末光恵美子さんの「初燕知り尽くしたる山河あり」が選ばれました。この句は句碑に刻まれ、来年の3月に鹿野川園地内の「句碑の道」に建立される予定です。



▲大洲市長賞を受賞された末光さん



▲物語に聞きいる子どもたち

物語の世界へ ～河辺小学校で読書集会～

4/23(木)

今年度から、河辺小学校では、児童の心を豊かにする教育の一環として、読書集会が行われています。第1回目の読書集会では、ボランティアの田中治子さんに、日本神話の中から「やまたのおろち」の話をしていただきました。とても上手な語り方で、いつの間にか子どもたちは、物語の中にひき込まれているようすでした。河辺小学校では、子どもたちが本の楽しさを知り、読書活動への意欲が高まるよう、今後も豊かな読書環境を整えられるそうです。

※現在、河辺小学校では、子どもたちのために、本の読み聞かせをしてくださるボランティアの方を募集しています。ご協力いただける人、興味のある人は、ぜひ河辺小学校までご一報ください。

河辺小学校 (☎39-2016)

4/28(火)

大きくなっぺ ～第1回ヒラメ稚魚放流事業～

地元の子どもたちに放流事業を通して自然保護の意識を高めてもらおうと、地域の雄建会（門田純一代表）などの主催による、ヒラメ稚魚の放流事業が長浜の赤橋広場で行われました。この日は、長浜保育所と大和保育所から36人の園児が参加。体長13センチほどの稚魚、約3,000匹を長浜の海へ放流しました。放流したヒラメは、1年半ほどかけて40センチから1メートルに成長するそうです。



▲早く大きくなっぺ



▲甘い香りのする園内

たくさんの人を楽しませました ～「大エビネ展」～

～5/5(火)まで

長浜町須沢の日本エビネ園（水口春樹園長）で、「大エビネ展」が開催されました。日本エビネ園には、原産種や人工交配した約350種、およそ5万株が展示されていました。

訪れた人は甘い香りに出迎えられて、白、黄色、ピンクなど色とりどりに咲いたエビネの花を一つ一つじっくりとながめては、色や香りを楽しんでいました。